

激動の時代 市民生活にも格差社会が 市政のあり方を考えるつどい

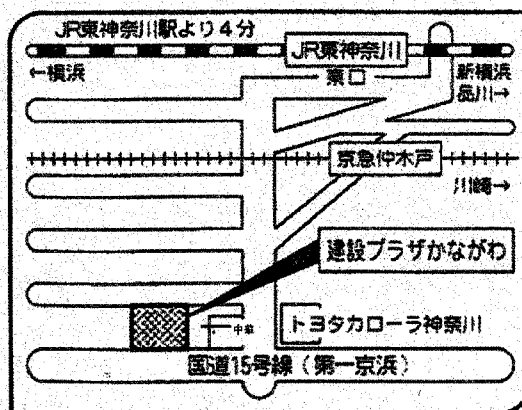
日時 3月24日(火)

午後6時受付 6時30分開会

会場 建設プラザかながわ

〒221-0045 神奈川区神奈川2-19-3

TEL045-453-9701



会費 資料代として300円

中田市政2期7年目を終え、幾つかの点で前進面があったものの、市民福祉や市内中小業者への活性化策においては、多方面から疑義が噴出しています。

このような中で、横浜市政に関心・意見をお持ちの各分野の方々が一堂に会して、「激動の時代市民生活にも格差社会～市政のあり方を考えるシンポジウム～」を開催することとしました。

意見・発言も大いに歓迎します。誘い合ってご参加下さい。参加費は無料です。

講演…岡田広行・週刊東洋経済副編集長

格差と貧困、横浜市政をテーマに、豊富な取材に裏付けられた市民の目線での記事はマスコミの中でもピカール。「今の中田横浜市政は」と題して縦横無尽に語る。

講演…白井享一・横浜建設業協会前会長

「小泉・竹中『構造改革』は、やってはいけないことをやった。労働力は“物”に置き換えられ、手間・賃金のカットは生活出来ないところまで追いつめた。いずれ必ず滅びる。皆さんと一緒に打開していきたい」(’09,1/9 横浜建設市連新年会でのあいさつ)。会長の時代に全国注視の“労使共同”に先鞭。横浜建設業界の重鎮が忌憚なく横浜市政に物申す。

会場からの意見・発言予定

保育所裁判、子供の貧困問題、給与・年金の差し押さえ、教育現場の問題、港湾での問題、池子の森を守る課題、市議会定数削減問題、横浜市財政は赤字か、貧困と生活保護問題、雇用・労働問題…

主催 市政のあり方を考えるつどい実行委員会

連絡先 横浜市建設労働組合連絡会 神奈川区台町16-12 浜建労会館 TEL045-321-5386